

令和7年度 オホーツク海外海放流ホタテガイ貝柱歩留不良予報*

概況

4月と5月の4つの観測値のうち、東部海域では最大平均貝柱歩留の1項目が不良、西部海域では最大平均貝柱歩留、最大クロロフィル濃度、最大海水温差の3項目が不良でした。西部海域については、貝柱歩留不良の発生確率は高水準であり、警戒が必要と予想されます。

*但し東部海域の3項目（貝柱歩留、グリコーゲン濃度、クロロフィル濃度）については、5月の観測値のみ使用

海域：オホーツク総合振興局管内東部海域

レベル：1

予報期間：令和7年（2025年）6～7月（短期）

発生確率：0.000～0.167

予報期間：令和7年（2025年）6～10月（長期）

発生確率：0.000～0.167

海域：オホーツク総合振興局管内西部海域

レベル：3

予報期間：令和7年（2025年）6～7月（短期）

発生確率：0.667～0.750

予報期間：令和7年（2025年）6～10月（長期）

発生確率：0.667～0.750

警戒レベル	意味
1	発生確率が極めて低い
2	発生確率は短期でやや高く、注意が必要
3	発生確率が高水準であり、警戒が必要
4	発生確率は最高水準にあり、十分な警戒が必要
5	広域・長期にわたり発生確率が高く、全域で十分な警戒が必要

注：貝柱歩留不良予報は、4、5月の4つの観測値、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコーゲン濃度、最大クロロフィル濃度、最大海水温差（最高水温－最低水温）から、6、7月の短期と、6～10月の長期の貝柱歩留不良を統計的確率モデルで予測しています。

* この予報は、北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究「ホタテガイ成長モニタリング調査」結果によるものです。